

アメリカ連邦議会研究

アメリカ太平洋基層文化論 II シラバス [31D220-1223S/31D220-1223S]

2022年度Sセメスター 金曜2限

平松彩子（大学院総合文化研究科地域文化研究専攻）

授業概要・目標

この授業では、アメリカ政治の制度的中心に位置する連邦議会について、これまでアメリカ政治研究で提示されてきた文献を講読しながら学ぶ。連邦議会は第一義的にはアメリカの有権者を代表する機関であり、誰の声をどのように政治に反映できるのか、あるいは反映することが望ましいのかという、時に規範的な議論が政治理論の分野で展開してきた。最初の2回の授業ではこの点に焦点を当てた古典的文献を取り上げる。次に、議員に共通して見られる再選動機と、これを叶えるために組織される議会政党についての研究を読む。加えて、議会内制度および手続き、立法過程、両極化など、現在の議会政治を分析し理解するのに不可欠なテーマについて、比較的近年に刊行された文献を取り上げる。三権の中でも合衆国憲法に最初に取り上げられる立法府がこんにち抱えるようになった問題、および精緻化の進んだ研究手法の双方に対して、理解を深めることを目標とする。

キーワード： アメリカ連邦議会、議会政党、代表、政策形成過程／U.S. Congress, Congressional Parties, Representation, Policy Making Process

授業計画

- 第1回 4月8日（金） はじめに
- 第2回 4月15日（金） 代表の概念
- 第3回 4月22日（金） 地元と議事堂
- 第4回 5月6日（金） 議員の再選動機
- 第5回 5月13日（金） 議会政党（1）：政党指導部
- 第6回 5月20日（金） 議会政党（2）：カルテル
- 第7回 5月27日（金） もし議会政党が存在しないだと仮定したら
- 第8回 6月3日（金） 議会内制度と審議手続き（1）
- 第9回 6月10日（金） 議会内制度と審議手続き（2）
- 第10回 6月17日（金） 公共政策の立法過程（1）
- 第11回 6月24日（金） 公共政策の立法過程（2）
- 第12回 7月1日（金） 選挙と両極化
- 第13回 7月8日（金） おわりに

毎週の授業で取り上げる文献の配置と詳細

- 第1回 4月8日（金） はじめに

シラバス配布、授業説明、教員と履修者の自己紹介

第2回 4月15日（金） 代表の概念

- Pitkin, Hanna Fenichel. *The Concept of Representation*. Berkeley: University of California Press, 1967. (Chapter 10. Political Representation. 209-240.)
Mansbridge, Jane. "Rethinking Representation." *The American Political Science Review* 97, no. 4 (2003): 515-28.

第3回 4月22日（金） 地元と議事堂

- Fenno, Richard F. "U.S. House Members in Their Constituencies: An Exploration." *The American Political Science Review* 71, no. 3 (1977): 883-917.
_____. *Congress at the Grassroots: Representational Change in the South, 1970-1998*. Chapel Hill: University of North Carolina Press, 2000. (Chapter 2: Jack Flynt, 1970-1972: A Person-Intensive Strategy and Chapter 4. Mac Collins, 1996-1998. A Policy Intensive Strategy. 13-50, 89-115.)

第4回 5月6日（金） 議員の再運動機

- Mayhew, David R. *Congress: The Electoral Connection*. Yale Studies in Political Science 26. New Haven: Yale University Press, 1974.

第5回 5月13日（金） 議会政党（1）：政党指導部

- Aldrich, John H. *Why Parties?: A Second Look*. Chicago: University of Chicago Press, 2011. (Chapter 8)
Peters, Ronald M., and Cindy Simon Rosenthal. *Speaker Nancy Pelosi and the New American Politics*. New York: Oxford University Press, 2010. (Chapters 3-5)

第6回 5月20日（金） 議会政党（2）：カルテル

- Cox, Gary W., and Mathew D. McCubbins. *Legislative Leviathan: Party Government in the House*. 2nd ed. Cambridge ; New York: Cambridge University Press, 2007.

第7回 5月27日（金） もし議会政党が存在しないだと仮定したら

- Krehbiel, Keith. *Pivotal Politics : A Theory of U.S. Lawmaking*. Chicago: University of

Chicago Press, 1998.

第8回 6月3日（金） 議会内制度と審議手続き（1）

Schickler, Eric. *Disjointed Pluralism : Institutional Innovation and the Development of the U.S. Congress.* Princeton Studies in American Politics. Princeton: Princeton University Press, 2001.

第9回 6月10日（金） 議会内制度と審議手続き（2）

Koger, Gregory. *Filibustering : A Political History of Obstruction in the House and Senate.* Chicago: The University of Chicago Press, 2010.

第10回 6月17日（金） 公共政策の立法過程（1）

Arnold, R. Douglas. *The Logic of Congressional Action.* New Haven: Yale University Press, 1990.

第11回 6月24日（金） 公共政策の立法過程（2）

Lapinski, John S. *The Substance of Representation: Congress, American Political Development, and Lawmaking.* Princeton: Princeton University Press, 2013.

第12回 7月1日（金） 選挙と両極化

Lee, Frances E. *Insecure Majorities : Congress and the Perpetual Campaign.* Chicago ; London: The University of Chicago Press, 2016.

第13回 7月8日（金） おわりに

セメスターを通じてのレビュー、最終課題について

成績評価方法

授業内の口頭報告（20%）、コメントの事前提出（20%）、および議論への参加（20%）。期末ペーパーの提出（40%）。授業を三回以上欠席した場合は、単位を認めない。

1. 授業内口頭報告

課された文献を事前に読み、報告担当者は10分～15分程度の内容要約を行う。課された文献について、内容の要約（研究課題の設定、実証の手続き、依拠している資料やデータ群、その他）を整理した配布レジュメを準備のこと。

2. コメントの事前提出

報告者以外の履修者は、課題文献に関するコメントを事前に ITC-LMS 上で提出する。研究の立証手続きの方法の妥当性、主張の意義、他の研究との関連性などについて考えてみるとこと。

授業内の議論では文献で書かれている内容に内在的なコメントを考えることを求める。

3. 最終課題レポート

本授業の中で取り上げた複数の文献（ただし自身が口頭報告を担当しなかったもの）に基づいて論じなさい。レポートの文字数は、日本語で1万字程度、英語の場合は4,000 words程度。

課題文献以外の参考書

Oleszek, Walter J., Mark J. Oleszek, Elizabeth Rybicki, and Bill Heniff. *Congressional Procedures and the Policy Process*. Eleventh edition. ed. Thousand Oaks, California: CQ Press. 2020.

Alexander Hamilton, James Madison, and John Jay. The Federalist Papers.
<https://guides.loc.gov/federalist-papers/full-text> / A. ハミルトン、J.ジェイ、J. マディソン『ザ・フェデラリスト』、斎藤眞、中野勝郎翻訳、岩波書店、1999年
久保文明 他著、『アメリカ政治 第3版』(有斐閣アルマシリーズ)、有斐閣、2017年
廣瀬淳子『アメリカ連邦議会—世界最強議会の政策形成と政策実現』、公人社、2004年